

令和2年産水稻の生育状況と今後の対策 (水稻生育診断技術確立調査－6号)

農林総合研究センター
令和2年6月29日調査

気象経過

<平年対比>

【平均気温】

- ・6月第4半旬は、金沢は並、輪島は高い(平年差:金沢 -0.1°C 、輪島 $+0.6^{\circ}\text{C}$)
- ・6月第5半旬は、金沢、輪島ともかなり高い(平年差:金沢 $+1.9^{\circ}\text{C}$ 、輪島 $+1.1^{\circ}\text{C}$)

【日照時間】

- ・6月第4半旬は、金沢、輪島ともかなり多い(平年比:金沢128%、輪島146%)
- ・6月第5半旬は、金沢、輪島ともかなり多い(平年比:金沢192%、輪島210%)

【降水量】

- ・6月第4半旬は、金沢は少なく、輪島はかなり少ない(平年比:金沢60%、輪島0%)
- ・6月第5半旬は、金沢、輪島ともかなり少ない(平年比:金沢33%、輪島36%)

【1ヶ月予報】

6月25日発表の1か月予報(6月27日～7月26日)では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。向こう1か月の平均気温は、高い確率60%です。週別の気温は、1週目は、高い確率70%です。2週目は、高い確率50%です。3～4週目は、高い確率50%です。

生育概況等

【本田の生育】

1. 出穂期予想

ゆめみづほの出穂期予想は、加賀地域で7月12～17日頃と平年に比べ3～5日程度早く、能登地域(羽咋～中能登)は7月18日頃と平年に比べ5日程度早くなると見込まれる。また、能登地域(奥能登～珠洲)の能登ひかりの出穂期は、7月19～22日頃と近年に比べ2～6日程度早くなると見込まれる。

2. 葉齢

コシヒカリは、平年比 $+0.2$ 葉(加賀地域 ± 0.0 葉、能登地域 $+0.3$ 葉)となっている。コシヒカリの葉齢展開からみた生育の遅速は、平年に比べ1～2日程度早いと見込まれる。

ひやくまん穀は、近年比 $+0.6$ 葉(加賀地域 $+0.2$ 葉、能登地域 $+1.0$ 葉)となっており、葉齢展開からみた生育の遅速は、加賀地域では近年に比べ1～2日程度早く、能登地域では6日程度早いと見込まれる。

3. 草丈

コシヒカリは平年比116%(加賀地域116%、能登地域116%)と平年に比べ長い。

ゆめみづほは平年比116%(加賀地域117%、能登地域115%)と平年に比べ長い。

ひやくまん穀は近年比125%(加賀地域120%、能登地域130%)と近年に比べ長い。

4. m^2 当たり茎数

コシヒカリは、平年比94%(加賀地域94%、能登地域90%)と平年並。

ゆめみづほは平年比96%(加賀地域100%、能登地域87%)と加賀地域は平年並、能登地域は平年に比べやや少ない。

ひやくまん穀については、近年比101%(加賀地域:86%、能登地域:121%)と加賀地域で近年に比べやや少なく、能登地域で近年に比べ多くなっている。

5. 葉色(葉色板)

コシヒカリは平年比 ± 0.0 (加賀地域 ± 0.0 、能登地域 ± 0.0)となっている。

ひやくまん穀は近年比 $+0.2$ (加賀地域 $+0.3$ 、能登地域 $+0.1$)となっている。

㎡当たり莖数（平年、前年）及び株当たり莖数

コシヒカリ	県平均	490本	（平年比 94%	前年比 90%）	27.5	本/株
	加賀	473本	（平年比 91%	前年比 88%）	26.6	本/株
	能登	514本	（平年比 98%	前年比 93%）	28.8	本/株
ゆめみづほ	県平均	538本	（平年比 96%	前年比 89%）	29.9	本/株
	加賀	567本	（平年比 100%	前年比 91%）	32.2	本/株
	能登	478本	（平年比 87%	前年比 87%）	26.2	本/株
ひやくまん穀	県平均	518本	（近年比 101%	前年比 92%）	26.0	本/株
	加賀	470本	（近年比 86%	前年比 86%）	23.6	本/株
	能登	578本	（近年比 121%	前年比 100%）	28.9	本/株

【病害虫の発生状況】

- いもち病の発生は確認されていないが、今後の発生はやや多と予想されている。
- 現在の雑草地における斑点米カメムシ類の発生は平年よりやや多く、斑点米カメムシ類の発生は多と予想されている。
[病害虫発生病害虫発生予報第3号（令和2年6月18日付）参照]
- セジロウカの初飛来が6月17日（平年6月27日）に県内2カ所で確認されている。
[病害虫情報-4（令和2年6月24日付）参照]
- 一部でイナゴが散見されている。

当面の対策

1. 早生

- 1回目の穂肥は、適期の幼穂長（ゆめみづほ：1～2mm出穂23日前、能登ひかり：2～3mm出穂20日前）を確認し、遅れずに施用する。

ゆめみづほの穂肥については、葉色が濃いほ場（葉色板値4以上）や莖数が650本/㎡を超えているほ場では時期は遅らせず施肥量を減らして施用し、2回目は出穂7～10日前に基準量を施用する。

- 早生品種の穂肥施用後は根の機能を保持し、登熟を向上させるため、間断通水により土壌の飽水状態を保つ。

2. コシヒカリ

- 出穂の早い加賀地域で下位節間の伸長、全県的には弱勢分けつの発生が懸念されることから、倒伏、過繁茂及び籾数過剰を防止し、登熟能力の高い稲体に誘導するため、7月5日頃まで中干しを継続する。**

- また、5月20日以降に移植されたほ場においては、7月第3半旬まで中干しを継続する。

3. ひやくまん穀

ひやくまん穀の莖数を理想生育相と比較すると、加賀地域は概ね理想的、能登地域はやや多くなっている。

- 地力のある圃場（半湿田～湿田）**

- 倒伏、過繁茂及び籾数過剰を防止し、登熟能力の高い稲体に誘導するため、7月15日頃まで中干しを継続する。
- 既に十分な莖数を確保しており、今後発生する弱勢分けつを確実に淘汰する必要がある。能登地域では前回調査から莖数がかなり増加しており、早急な莖数抑制が必要である。

- 低地力の圃場（乾田）**

- 全量基肥体系**
 - 葉色4.5未満（葉色板）の場合は**直ちに中干しを終了し、葉色の維持に努める。**
 - 葉色4.5以上の場合には中干しを継続する。
- 分施肥体系**
 - 基肥由来のアンモニア態窒素の肥効は切れており、**葉色4.0未満の場合**は、**直ちに中干しを終了し、7月5日頃までに**窒素成分で0.5kg/10aを追肥する。

4. 病虫害防除

(1) **いもち病の発生はやや多と予想**されており、一旦発生すると急速に進展する恐れがある。**発生状況の把握に努め**、発病が認められたら直ちに防除する。

① いもち病の箱施薬が行われていないほ場、いもち病の常発地及び葉色の濃いほ場を中心に巡回を行ない、葉いもちの早期発見に努め、発生を認めたら直ちに防除を行う。

(2) **紋枯病については、前年発生した圃場、茎数の多いほ場では多発する可能性があるため防除を実施する。**薬剤によって防除適期が異なるので、使用薬剤の基準に従う。

(3) 白葉枯病の防除については、過去に多発した地域で予防剤を箱施薬していない場合は、予防剤を6月30日までに散布する。

① 大雨により冠・浸水したほ場では、できるだけ早くほ場の排水に努める。

(4) 斑点米カメムシ類の防除については、発生密度を下げるため、生息場所である農道、畦畔、休耕田および遊休地等の除草を徹底する。除草を集落など地域全体で一斉に実施すると密度低下の効果が高い。なお、刈り払った雑草は用排水路に入らないように注意する。

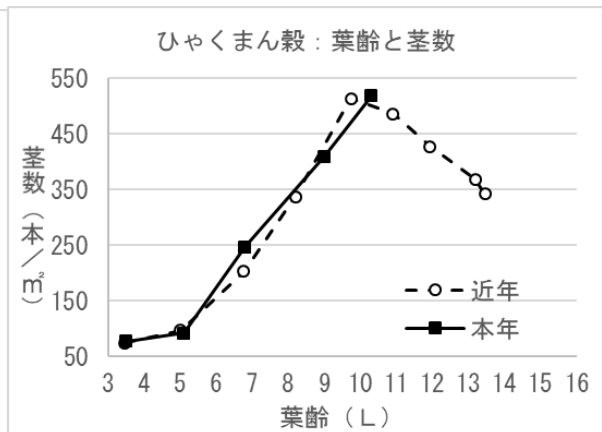
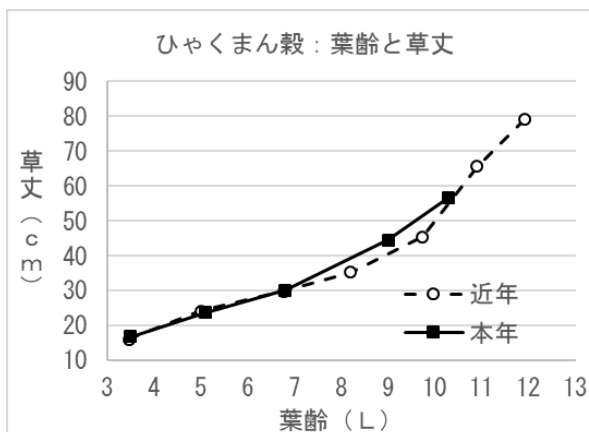
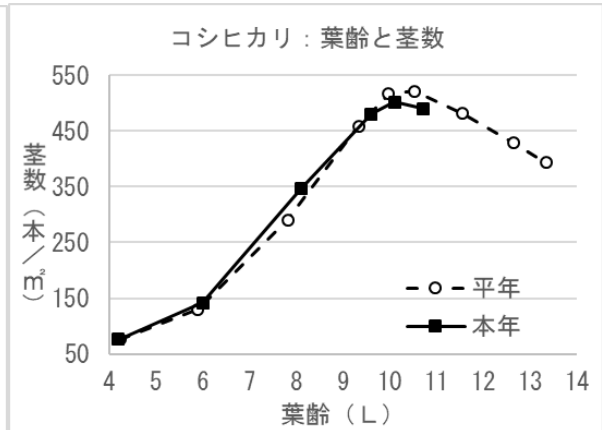
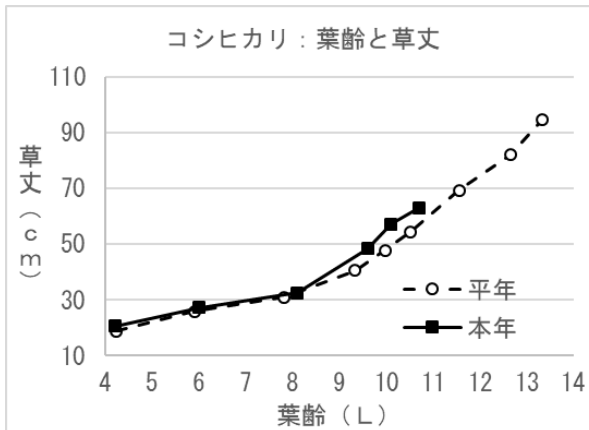
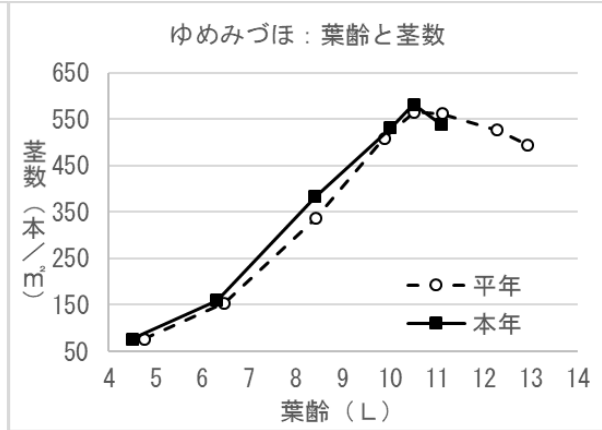
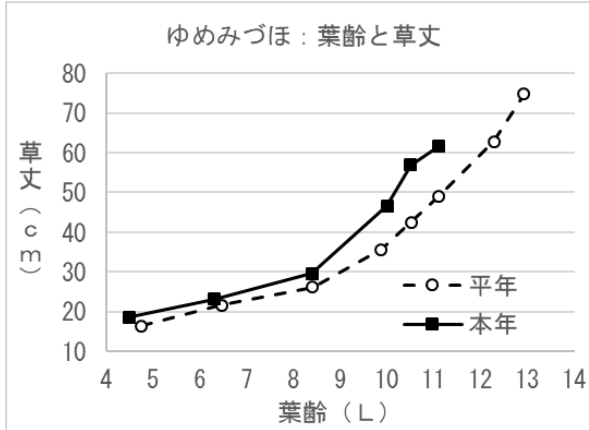
(5) 晩生品種のひやくまん穀の防除適期は予想出穂期に基づき設定し、中生品種のコシヒカリと異なることに留意して、基幹防除を実施する。

5. 今後も高温傾向が続くと予報されており、いずれの品種も出穂期が早まり、更に刈取適期も早まることが予想される。品質低下を防止し、適期に刈取作業を終了できるように共同乾燥施設の稼働計画等の作成を行うこと。

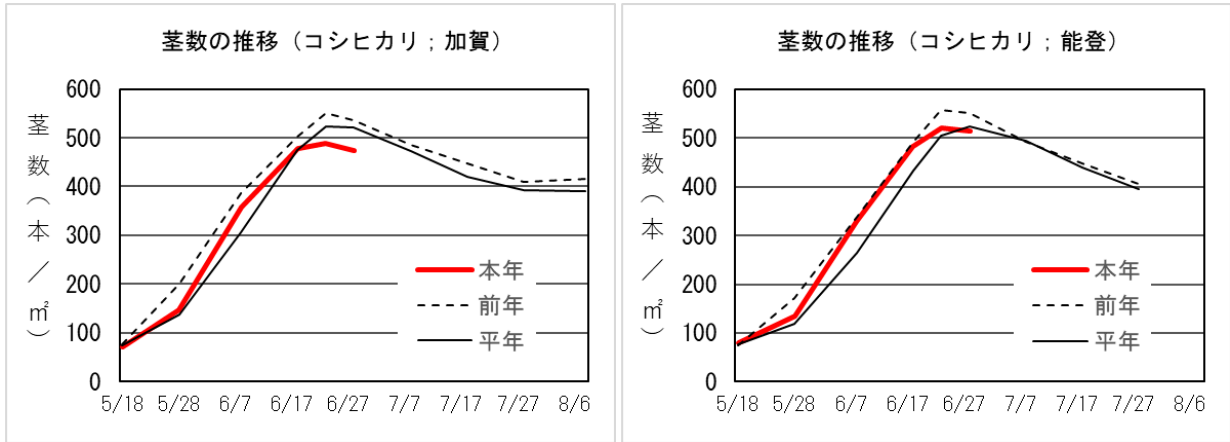
<参考：草丈の伸長および茎数の増加傾向>

葉齢を基に草丈の伸長および茎数の増加を平年と比較すると、

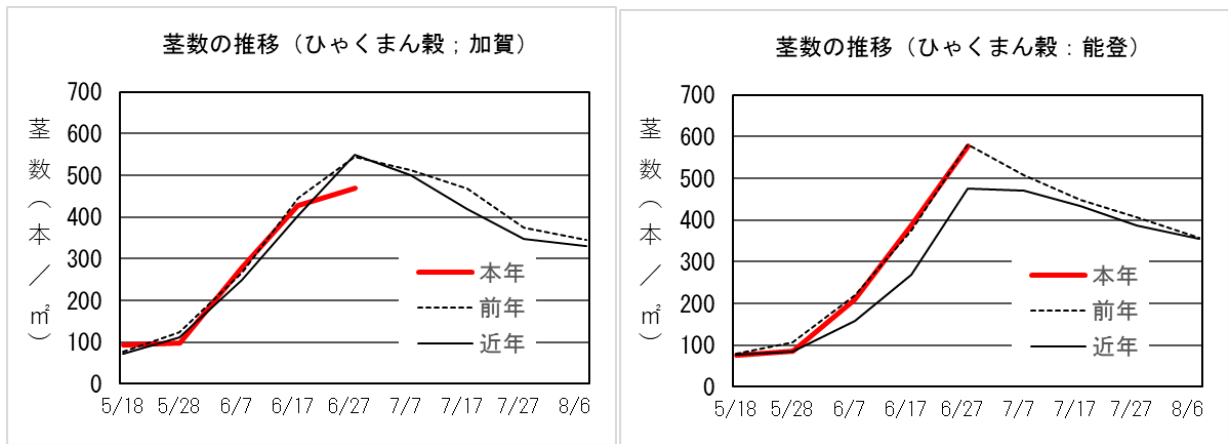
- (1) 草丈については、ゆめみづほは平年に比べ長く、コシヒカリはやや長く、ひやくまん穀は近年並となっている。
- (2) 茎数については、ゆめみづほ、コシヒカリは平年並、ひやくまん穀は近年並となっている。



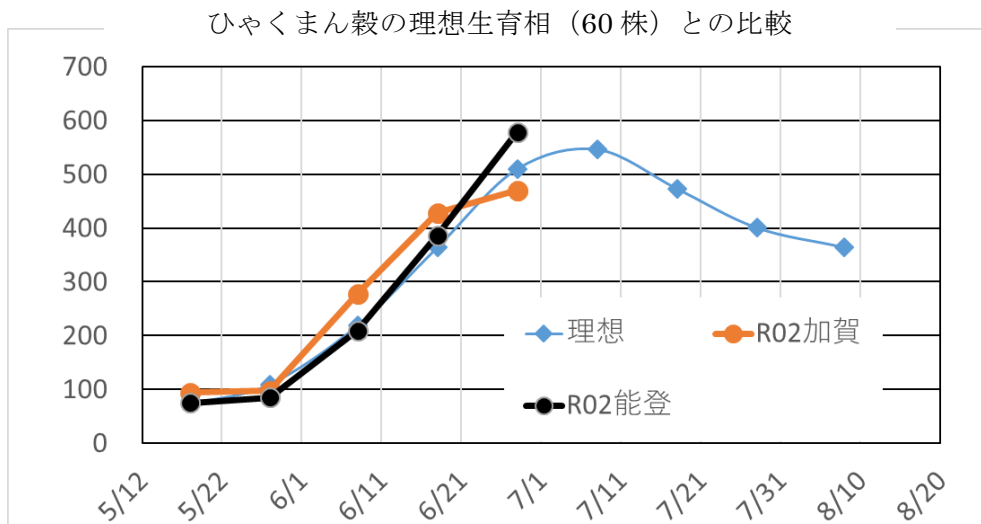
- 調査日を基にコシヒカリの茎数増加を平年及び前年と比較すると、加賀地域では平年並で前年に比べやや少なく、能登地域では平年及び前年並となっている。
また、最高分げつ期については、加賀地域、能登地域とも6月23～24日となり、加賀地域、能登地域のいずれも平年及び前年より早くなった。



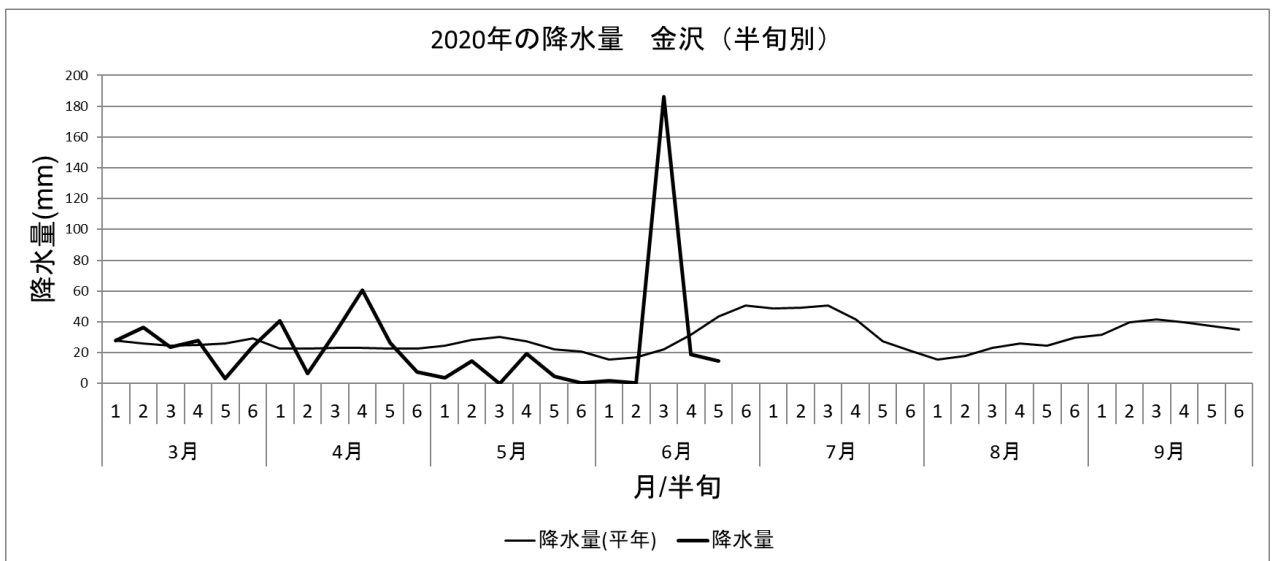
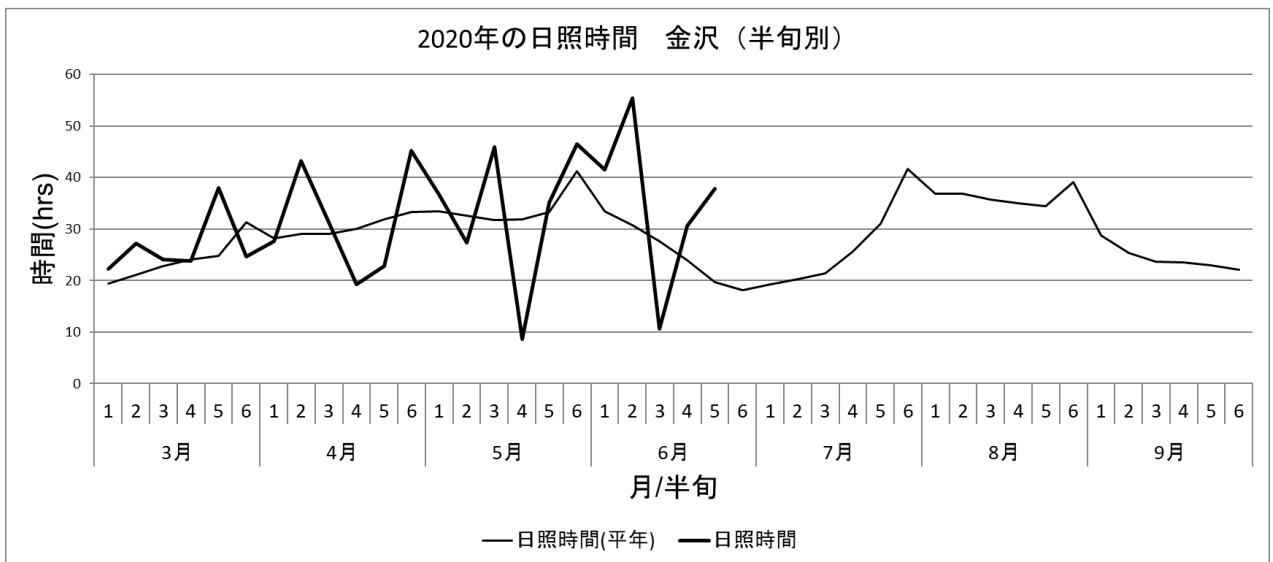
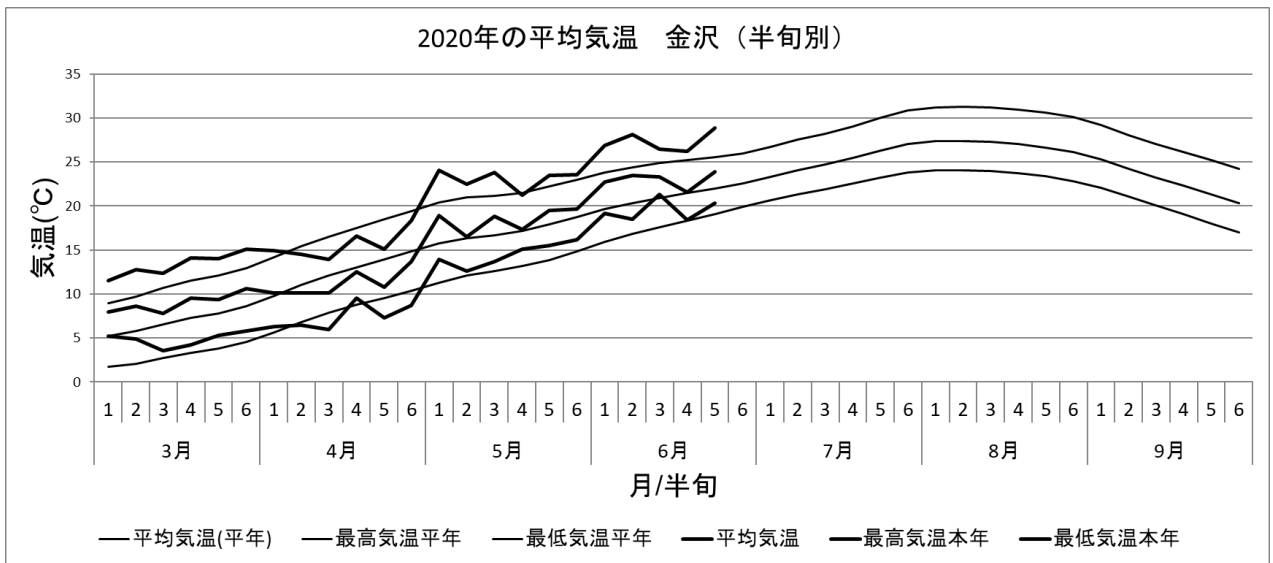
- 調査日を基にひやくまん穀の茎数増加を近年及び前年と比較すると、加賀地域では平年及び前年に比べ少なく、能登地域では近年より多く、前年並となっている。



- ひやくまん穀の理想生育相と比較すると、加賀地域では理想的、能登地域では理想に比べやや多くなっており、加賀地域、能登地域のいずれも目標穂数360本/㎡は確保できる見込みである。



気象経過イメージ（金沢气象台）



気象経過イメージ（金沢気象台）

